

熊本総合医療リハビリテーション学院 ソーシャルメディアポリシー

熊本総合医療リハビリテーション学院（以下「本学」という。）は、ソーシャルメディアを活用した情報発信や、学生、教職員の個人における利用を円滑かつ安全に行うために、ソーシャルメディアポリシーを制定します。

このポリシーにおいてソーシャルメディアとは、「個人または各種団体が情報発信を通して、不特定多数の人と相互にコミュニケーションをとることが可能なインターネット上のサービス」と定義します。

例) Facebook、Twitter、LINE、Youtube、各種 Blog、など

本学のソーシャルメディアポリシーは、以下の3つから構成されます。

- ・ ソーシャルメディア利用全般に関するガイドライン
- ・ ソーシャルメディア公式アカウント運用に関するガイドライン
- ・ ソーシャルメディア個人アカウント利用に関するガイドライン

1. ソーシャルメディア利用全般に関するガイドライン

(1) 趣旨

本学に所属する学生、教職員が公私を問わずソーシャルメディアを利用するにあたって、円滑かつ安全に活用するための基本原則として、本ガイドラインを設置します。

(2) 情報発信の心得

ソーシャルメディアのユーザーには、様々な思想や文化を持った方がいることを踏まえ、常に正確な情報を発信します。また、ソーシャルメディアのみならずインターネット上に一度公開された情報は、必ずしも完全に削除することは出来ないこと、場合によっては本学へ大きな影響を与える可能性があることを十分認識し、不正確な情報や他者を傷つける情報などの発信は行いません。

1) 自覚と責任

情報を発信する場合には、本学の構成員であることの自覚と責任を持ちます。

2) 正確な情報の発信

虚偽の情報や誤解を招く情報を流さないよう、正確な情報を発信します。万が一誤った情報の発信が行われた場合は、速やかにかつ誠実に対応するとともに、必要に応じて訂正の発表を行います。

3) 法令の遵守

法令を遵守し、著作権、知的所有権、肖像権、商標権などの第三者の権利、プライバシーを尊重し情報を発信します。

4) 他者への配慮

外部からの異なった意見が投稿された場合は冷静に対応し、他者を尊重する態度をもって建設的に議論を進めます。

5) 個人の利用

法令およびソーシャルメディア個人アカウント利用に関するガイドラインの遵守とネットリテラシー（インターネットを正しく理解し利用できる能力）を身に付けることを推奨します。

6) 掲載内容の削除

本学および関係者の不利益になると判断したコメントなどの掲載内容については、発信者の承諾を得ずに削除、あるいは発信者に対して削除を求める場合があります。

2. ソーシャルメディア公式アカウント運用に関するガイドライン

(1) 趣旨

本学では、ソーシャルメディアの特性である情報の即時性・拡散性を活かし、本学に関する情報や魅力を広く発信していくために、本ガイドラインを設置し、本学のソーシャルメディア公式アカウント（以下「公式アカウント」という。）の運用の際に適用します。

(2) 熊本総合医療リハビリテーション学院のソーシャルメディア公式アカウント一覧

本学が運営する公式アカウントは下記のとおりです。これ以外のものは公式アカウントではありません。

- Facebook

熊本総合医療リハビリテーション学院

<https://www.facebook.com/KCMR.kumareha>

(3) 運営方針

公式アカウントは、本学におけるイベント、ニュース、教育的、社会的な取り組みなどの情報発信を目的として運営します。閲覧者より寄せられたコメントにつきましては、全てに対して返信することが困難な場合がありますので、ご不明な点については本学までお問い合わせください。また、公式アカウント上で不適切な情報が発信された場合は、不適切な情報の削除、その他必要な措置を講じます。

(4) 利用上の遵守事項

1) 公式アカウント利用にあたり以下の行為を禁止します。

- 法令および公序良俗に反する行為
- 犯罪行為に結びつくおそれのある行為

- ・著作権、商標権、肖像権などを侵害する行為
 - ・人権およびプライバシーを侵害する行為
 - ・公式アカウントおよび本学が提供する情報を営利目的で使用する行為
 - ・有害なコンピュータプログラム、および偽装ファイルなどを発信する行為
 - ・なりすましなどによる情報発信行為
 - ・その他、運用において不適切であると本学が判断する行為
- 2) 公式アカウントでの情報発信は、本学の公式な情報発信であることを認識すること。
 - 3) 情報発信や対応に責任を持ち、閲覧者へ誤解を与えないようにすること。
 - 4) ソーシャルメディアが持つ社会的影響や発信された情報は完全に取消すことが出来ない点に留意すること。
 - 5) 伝聞や憶測に頼らず、正確な情報を発信すること。
- (5) 著作権および個人情報の取り扱い
- 1) 著作権について
公式アカウント上に掲載されたすべての情報に関する著作権は本学に帰属します。
 - 2) 個人情報の取り扱いについて
本学が別に定める「個人情報保護方針」に従って管理するものとします。
- (6) 免責事項
- 1) 情報の正確性について
公式アカウント上において本学以外の者により提供された情報については、その正確性を保証するものではありません。
 - 2) 第三者損害について
本学の故意または重大な過失に起因する場合を除き、公式アカウント上において発生した閲覧者その他第三者の損害について、本学は一切責任を負いません。
3. ソーシャルメディア個人アカウント利用に関するガイドライン
- (1) 趣旨
このガイドラインは、本学に所属する学生および教職員が、個人的にソーシャルメディアを利用する際の心構えや危険性を示し、健全な利用を促します。
- (2) 利用上の注意事項
- 1) 情報発信に際しては、基本的人権、肖像権、プライバシー権、著作権、商標権などに関する法令を遵守して下さい。例えば次のような情報は発信してはいけません。
 - ・他者を誹謗中傷するような内容
 - ・他者のプライバシーを侵害する内容

- ・公序良俗に反する内容
 - ・人種、民族、言語、宗教、身体、性、思想、信条などに関する差別的な内容
- 2) インターネットの性質や特徴を、正しく理解し利用できる能力（ネットリテラシー）を身につけるよう努めてください。
- ・一度インターネット上に発信した情報は完全に削除することは困難で、将来にわたって影響が残る可能性があることを自覚しましょう。
 - ・インターネット上であっても現実社会と同様に、他者に敬意を払うことを忘れず、利用者が不快な思いをしないような常識のある情報発信を心がけましょう。
 - ・個人情報を登録・公開する際は、安全性に十分注意しましょう。自分のアカウントを奪われてなりすましや悪用をされないように定期的なパスワード変更などで身を守りましょう。
 - ・他者だけでなく自分自身のプライバシーの保護にも注意しましょう。GPS 機能の付いたデジタルカメラなどで撮影した写真には位置情報が埋め込まれるようになっており、いつどこで何をしたかという情報が筒抜けになる恐れがあります。
- 3) トラブルの事例

ソーシャルメディアの安易な利用は次のようなトラブルを招く可能性があります。

- ・自分や友人の写真の投稿、他人を勝手に撮影し投稿
→投稿した写真が第三者により悪用される可能性がある。
- ・自分の位置情報が分かる写真を投稿
→自宅などが特定される可能性がある。
- ・迷惑行為や問題行動（悪ノリ・悪ふざけ）を投稿
→被害を被った個人や企業から損害賠償が求められる可能性がある。また、本学での処分が検討される。
- ・未成年の喫煙や飲酒、飲酒運転などを投稿
→公的機関による処罰（運転免許の取消、罰金など）、本学での処分が検討される。
- ・就職内定先などに関する投稿
→投稿による被害が直接的になかった場合でも、モラルに反する行為として内定の取り消しなどの措置が取られる可能性がある。
- ・臨床実習先、勤務先やアルバイト先で知り得た情報を投稿
→企業情報の漏えいなどで、損害賠償の請求や処罰を受ける可能性がある。

(3) 推奨事項

各種ソーシャルメディア個人アカウントのプロフィールなどに本学に所属していることを明記するか否かについては、各人の判断に委ねています。ただし、本学に所属していることを明記する場合、または所属していることが他の情報などで容易に推測できる場合は、以下の事を心がけて下さい。

- ・発信する情報については、本学の正式な見解や回答でないことを明記し、一人称を使用すること。
- ・本学の名誉および信用を傷つけるような発言・投稿は慎み、良識のある発言・投稿を心がけること。

4. その他

本ソーシャルメディアポリシーに関する事務所管は、事務部総務課とします。内容については社会情勢やソーシャルメディアの変化に合わせて見直しを行い、今後の状況の変化に対応できるように努めます。

附則

本ソーシャルメディアポリシーは、平成 27 年 12 月 7 日から施行する。